貨物自動車運送事業法令試験実施結果
（令和4年7月）

中部運輸局

令和4年7月20日

	受験者数	合格者数	合格率
中部運輸局	45	35	77.8%

受験番号：

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
（令和４年７月２０日）

申請者名（法人名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
受験者の氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（注意事項）
※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

Ｉ．次の問題１から１６の文章で正しいものに〇を、誤っているものに×を（　　）内に記入しなさい。

問題１（定義）
貨物自動車運送事業法において、「一般貨物自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車（三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を含む。）を使用して貨物を運送する事業をいう。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題２（従業員に対する指導及び監督）
一般貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、当該貨物自動車運送事業に係る主な道路の状況、その他の事業用自動車の運行に関する状況、その状況の下において事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な運転の技術及び法令に基づき自動車の運転に関して遵守すべき事項について、運転者に対する適切な指導及び監督をしなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題３（定期点検整備）
一般貨物自動車運送事業の用に供する自動車は３ヶ月毎に定期点検整備を行わなければならない。（道路運送車両法）

（　　）

問題４（運転者）
運転者は、事業用自動車の乗務について、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を乗務後に一般貨物自動車運送事業者に申し出なければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題５（運賃及び料金の届出）
運賃料金設定（変更）届出書には、「設定し、又は変更しようとする運賃及び料金の種類、額及び適用方法」を記載しなければならない。（貨物自動車運送事業報告規則）

（　　）

問題６（運送約款）
一般貨物自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題７（貨物の積載方法）
一般貨物自動車運送事業者は事業用自動車に貨物を積載するときは、偏荷重が生じないように積載しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題８（運賃及び料金等の掲示）
一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金、運送約款を事業用自動車内に掲示しなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題９（報告書の提出）
一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車が転覆し、火災を起こし、その他国土交通省令で定める事故を引き起こしたときは、３０日以内に、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を届け出なければならない。（自動車事故報告規則）

（　　）

問題１０（輸送の安全）
一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を整備しなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１１（一般貨物自動車運送事業者等による輸送の安全にかかわる情報の公表）
一般貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣から貨物自動車運送事業法の規定に基づく処分（輸送の安全に係るものに限る。）を受けたときは、遅滞なく、当該処分の内容並びに当該処分に基づき講じた措置及び講じようとする措置の内容をインターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題１２（一般貨物自動車運送事業の許可）
一般貨物自動車運送事業を経営しようとする者は、国土交通大臣の認可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１３（交通事故の場合の措置）
交通事故があったときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない。（道路交通法）

（　　）

問題１４（点呼等）
一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を終了した運転者に対する点呼において、深夜時間帯の運行管理者（補助者）の帰社後等都合による場合は、対面に代えて電話による点呼を行うことができる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題１５（有償旅客運送の禁止）
貨物自動車運送事業を経営する者は、有償で旅客の運送をしてはならない。災害のため緊急を要するとき、その他やむを得ない事由がある場合であっても、旅客を乗車させる構造要件を備えていないことから、有償で旅客の運送をしてはならない。（道路運送法）

（　　）

問題１６（過労運転の防止）
一般貨物自動車運送事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び過労運転時間を定めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

Ⅱ．次の問題１７から２５の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題１７（目的）
貨物自動車運送事業法の目的として条文に記載のないものはどれか。（貨物自動車運送事業法）
　ア．貨物自動車運送事業の運営を適正かつ合理的なものにすること。
　イ．貨物自動車運送事業の過当な競争の防止に関すること。
　ウ．輸送の安全の確保と公共の福祉の増進に資すること。

（　　）

問題１８（運行管理者の業務）
次のうち、運行管理者が行わなければならない業務として正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

ア．運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を有効に保持すること
イ．日常点検整備の結果に基づき、運行の可否を決定すること
ウ．乗務員が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を適切に管理すること

ア（　　）イ（　　）ウ（　　）

問題１９（事業の譲渡し及び譲受け等）
次の申請のうち、国土交通大臣の認可を要しないものはどれか。（貨物自動車運送事業法）

ア．法人の合併及び分割
イ．事業の譲渡し及び譲受け
ウ．事業の休止及び廃止

（　　）

問題２０（事業計画）
次のアからエのうち、事業計画に含まれない事項を２つ選びなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則）

ア．事業者名及び代表者名
イ．各営業所に配置する事業用自動車の種別ごとの数
ウ．自動車車庫の位置及び収容能力
エ．運送約款

（　　）（　　）

問題２１（貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等）
貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息時間及び運転時間については、労働省告示（平成元年２月９日労働省告示第７号）によって定められています。次の中から正しいものを３つ選び記入しなさい。（自動車運転手の労働時間等の改善のための基準（平成元年２月９日労働省告示第７号））

ア．拘束時間は、１箇月について２９３時間を超えないものとすること。
イ．１日についての拘束時間は、８時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、１６時間とすること。
ウ．勤務終了後、継続８時間以上の休息期間を与えること。
エ．運転時間は、２日を平均し１日当たり９時間、２週間を平均し１週間当たり４４時間を超えないものとすること。
オ．連続運転時間は、５時間を超えないものとすること。

（　　）（　　）（　　）

問題２２（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）
私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律における「不公正な取引方法」とは、次のいずれかに該当する行為であって、公正な競争を阻害するおそれがあるもののうち、公正取引委員会が指定するものであるが、次のア～カのうち誤っているものを１つ選び（　　）内に記号で記入しなさい。（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）

ア．不当に他の事業者を差別的に取り扱うこと。
イ．低廉な対価をもつて取引すること。
ウ．不当に競争者の顧客を自己と取引するように誘引し、又は強制すること。
エ．相手方の事業活動を不当に拘束する条件をもつて取引すること。
オ．自己の取引上の地位を不当に利用して相手方と取引すること。
カ．自己又は自己が株主若しくは役員である会社と国内において競争関係にある他の事業者とその取引の相手方との取引を不当に妨害し、又は当該事業者が会社である場合において、その会社の株主若しくは役員をその会社の不利益となる行為をするように、不当に誘引し、唆し、若しくは強制すること。

（　　）

問題２３
親事業者が、下請事業者に対し製造委託等をした場合の禁止行為として、誤っているものを１つ選び（　　）内に記入しなさい。（下請代金支払遅延等防止法）

ア．下請代金をその支払期日の経過後なお支払わないこと。
イ．下請事業者の責に帰すべき理由がある場合に、下請代金の額を減ずること。
ウ．下請事業者の給付の内容と同種又は類似の内容の給付に対し通常支払われる対価に比し著しく低い下請代金の額を不当に定めること。
エ．下請事業者の給付の内容を均質にし又はその改善を図るため必要がある場合その他正当な理由がある場合を除き、自己の指定する物を強制して購入させ、又は役務を強制して利用させること。

（　　）

問題２４（運送約款の記載事項）
運送約款には必ず記載しなければならない事項がありますが、次のア～オのうち、当てはまらないものを１つ選び（　　）内に記号で記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則）

ア．経営状況に関する事項
イ．運賃及び料金の収受又は払戻しに関する事項
ウ．運送の引受けに関する事項
エ．積込み及び取卸しに関する事項
オ．損害賠償その他責任に関する事項

（　　）

問題２５（事業報告書及び事業実績報告書）
事業報告書についての報告期間及び提出時期として正しいものはどれか。（貨物自動車運送事業報告規則）

ア．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後１００日以内
イ．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後１２０日以内
ウ．事業年度に関係なく、毎年５月３１日まで

（　　）

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題（解答）
（令和４年７月２０日）

申請者名（法人名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
受験者の氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（注意事項）
※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

Ｉ．次の問題１から１６の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を（　　）内に記入しなさい。

問題１（定義）
貨物自動車運送事業法において、「一般貨物自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車（三輪以上の軽自動車及び二輪の自動車を含む。）を使用して貨物を運送する事業をいう。（貨物自動車運送事業法第第２条第２項）
（正）除く

（　×　）

問題２（従業員に対する指導及び監督）
一般貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、当該貨物自動車運送事業に係る主な道路の状況、その他の事業用自動車の運行に関する状況、その状況の下において事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な運転の技術及び法令に基づき自動車の運転に関して遵守すべき事項について、運転者に対する適切な指導及び監督をしなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第１０条第１項）

（　○　）

問題３（定期点検整備）
一般貨物自動車運送事業の用に供する自動車は３ヶ月毎に定期点検整備を行わなければならない。（道路運送車両法第４８条第１項）

（　○　）

問題４（運転者）

運転者は、事業用自動車の乗務について、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を乗務後に一般貨物自動車運送事業者に申し出なければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第１７条）

（　×　）

問題５（運賃及び料金の届出）
運賃料金設定（変更）届出書には、「設定し、又は変更しようとする運賃及び料金の種類、額及び適用方法」を記載しなければならない。（貨物自動車運送事業報告規則第２条の２）

（　○　）

問題６（運送約款）
一般貨物自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。（貨物自動車運送事業法第１０条第１項）

（　○　）

問題７（貨物の積載方法）
一般貨物自動車運送事業者は事業用自動車に貨物を積載するときは、偏荷重が生じないように積載しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第５条）

（　○　）

問題８（運賃及び料金等の掲示）
一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金、運送約款を事業用自動車内に掲示しなければならない。（貨物自動車運送事業法第１１条）
（正）主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように

（　×　）

問題９（報告書の提出）
一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車が転覆し、火災を起こし、その他国

土交通省令で定める事故を引き起こしたときは、３０日以内に、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を届け出なければならない。（自動車事故報告規則第３条第１項）

（　○　）

問題１０（輸送の安全）
一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を整備しなければならない。（貨物自動車運送事業法第１７条第１項）

（　○　）

問題１１（一般貨物自動車運送事業者等による輸送の安全にかかわる情報の公表）
一般貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣から貨物自動車運送事業法の規定に基づく処分（輸送の安全に係るものに限る。）を受けたときは、遅滞なく、当該処分の内容並びに当該処分に基づき講じた措置及び講じようとする措置の内容をインターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第２条の８第２項）

（　○　）

問題１２（一般貨物自動車運送事業の許可）
一般貨物自動車運送事業を経営しようとする者は、国土交通大臣の認可を受けなければならない。（貨物自動車運送事業法第３条）
（正）許可

（　×　）

問題１３（交通事故の場合の措置）
交通事故があったときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止する等必要な措置を講じなければならない。（道路交通法第７２条第１項）

（　○　）

問題１４（点呼等）
一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を終了した運転者に対する点呼において、深夜時間帯の運行管理者（補助者）の帰社後等都合による場合は、対面に代

えて電話による点呼を行うことができる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第７条第１項）
（正）運行上やむを得ない場合を除き、対面により点呼を行わなければならない
（　×　）

問題１５（有償旅客運送の禁止）
貨物自動車運送事業を経営する者は、有償で旅客の運送をしてはならない。災害のため緊急を要するとき、その他やむを得ない事由がある場合であっても、旅客を乗車させる構造要件を備えていないことから、有償で旅客の運送をしてはならない。（道路運送法第８３条）
（正）貨物自動車運送事業を経営する者は、有償で旅客の運送をしてはならない。ただし、災害のため緊急をようするときその他やむを得ない事由がある場合であって国土交通大臣の許可を受けたときは、この限りではない。

（　×　）

問題１６（過労運転の防止）
一般貨物自動車運送事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び過労運転時間を定めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第３条第４項）
（正）乗務時間
（　×　）

Ⅱ．次の問題１７から２５の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題１７（目的）
貨物自動車運送事業法の目的として条文に記載のないものはどれか。（貨物自動車運送事業法第１条第１項）
ア．貨物自動車運送事業の運営を適正かつ合理的なものにすること。
イ．貨物自動車運送事業の過当な競争の防止に関すること。
ウ．輸送の安全の確保と公共の福祉の増進に資すること。
（　イ　）

問題１８（運行管理者の業務）
次のうち、運行管理者が行わなければならない業務として正しいものには〇を、誤っているものには×をつけなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第２０条第１項）

ア．　運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を有効に保持すること
イ．日常点検整備の結果に基づき、運行の可否を決定すること
ウ．乗務員が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を適切に管理すること

ア（　○　）イ（　×　）ウ（　○　）

問題１９（事業の譲渡し及び譲受け等）
次の申請のうち、国土交通大臣の認可を要しないものはどれか。（貨物自動車運送事業法第３０条第２項）
ア．法人の合併及び分割
イ．事業の譲渡し及び譲受け
ウ．事業の休止及び廃止

（　ウ　）

問題２０（事業計画）
次のアからエのうち、事業計画に含まれない事項を２つ選びなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則第２条第１項）
ア．事業者名及び代表者名
イ．各営業所に配置する事業用自動車の種別ごとの数
ウ．自動車車庫の位置及び収容能力
エ．運送約款

（　ア　）（　エ　）

問題２１（貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等）
貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息時間及び運転時間については、労働省告示（平成元年２月９日労働省告示第７号）によって定められています。次の中から正しいものを３つ選び記入しなさい。（自動車運転手の労働時間等の

改善のための基準（平成元年２月９日労働省告示第７号）第４条第１項）

ア．拘束時間は、１箇月について２９３時間を超えないものとすること。

イ．１日についての拘束時間は、８時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、１６時間とすること。

ウ．勤務終了後、継続８時間以上の休息期間を与えること。

エ．運転時間は、２日を平均し１日当たり９時間、２週間を平均し１週間当たり４４時間を超えないものとすること。

オ．連続運転時間は、５時間を超えないものとすること。

（　ア　）（　ウ　）（　エ　）

ア．○　イ．１３時間　ウ．○　エ．○　オ．４時間

問題２２（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）

私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律における「不公正な取引方法」とは、次のいずれかに該当する行為であって、公正な競争を阻害するおそれがあるもののうち、公正取引委員会が指定するものであるが、次のア～カのうち誤っているものを１つ選び（　　）内に記号で記入しなさい。（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第２条第９項）

ア．不当に他の事業者を差別的に取り扱うこと。

イ．低廉な対価をもつて取引すること。

ウ．不当に競争者の顧客を自己と取引するように誘引し、又は強制すること。

エ．相手方の事業活動を不当に拘束する条件をもつて取引すること。

オ．自己の取引上の地位を不当に利用して相手方と取引すること。

カ．自己又は自己が株主若しくは役員である会社と国内において競争関係にある他の事業者とその取引の相手方との取引を不当に妨害し、又は当該事業者が会社である場合において、その会社の株主若しくは役員をその会社の不利益となる行為をするように、不当に誘引し、唆し、若しくは強制すること。

（正）不当な

（　イ　）

問題２３

親事業者が、下請事業者に対し製造委託等をした場合の禁止行為として、誤っているものを１つ選び（　　）内に記入しなさい。（下請代金支払遅延等防止法第４条第１項）

ア．下請代金をその支払期日の経過後なお支払わないこと。
イ．下請事業者の責に帰すべき理由がある場合に、下請代金の額を減ずること。
ウ．下請事業者の給付の内容と同種又は類似の内容の給付に対し通常支払われる対価に比し著しく低い下請代金の額を不当に定めること。
エ．下請事業者の給付の内容を均質にし又はその改善を図るため必要がある場合その他正当な理由がある場合を除き、自己の指定する物を強制して購入させ、又は役務を強制して利用させること。
（正）責に帰すべき理由がないのに

（　イ　）

問題２４（運送約款の記載事項）
運送約款には必ず記載しなければならない事項がありますが、次のア～オのうち、当てはまらないものを１つ選び（　　）内に記号で記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則第１１条）
ア．経営状況に関する事項
イ．運賃及び料金の収受又は払戻しに関する事項
ウ．運送の引受けに関する事項
エ．積込み及び取卸しに関する事項
オ．損害賠償その他責任に関する事項

（　ア　）

問題２５（事業報告書及び事業実績報告書）
事業報告書についての報告期間及び提出時期として正しいものはどれか。（貨物自動車運送事業報告規則第２条第１項）
ア．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後１００日以内
イ．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後１２０日以内
ウ．事業年度に関係なく、毎年５月３１日まで

（　ア　）